

# 魅力の低い町だからこそ

茨城県城里町をPR

ダムカレーの定義はさまざまですが、一般的にはダムをモチーフとしたカレーのことです。ごはんをダムの堤体を、カレーはダムの貯水池を表現しています。また、ダムとは水を堰き止めている構造物のことを言うため、ダムカレーはごはんの形を楽しむカレーだそうです。

中山 雄斗(石下)



↑ダムカレーについて一生懸命説明して下さった  
城里町開発公社の住谷さん



↑藤井川ダムカレー(850円)  
藤井川ダムの近隣の健康増進施設「ホロルの湯」で販売しています。



↑ダムカレーは、お米が堤体となっていて、お米の下にあるウィンナー(パルプ)を抜くとカレー(ダムの水)が放流されるようになっています。

↓ウィンナーを抜きカレーが出てきた瞬間です。放流されるカレーを見た瞬間は感動すると共に笑顔がこぼれてきました。



↑お皿は学生たちが考えたオリジナルの物です。藤井川ダムとその周辺の景観を考え、この周辺一帯をお皿の形にしました。

ここまでの形にするには、大変な苦労があったそうです。何度も試作をし、一番よく出来たものを城里町の陶芸家さんに頼んで焼いてもらい、ようやく完成したそうです。ちなみに、お皿にはダムにちなんで貯水池の水位が書いてあります。



↑ダムカレーを注文すると「藤井川ダムカレーカード」をもらえます。右上のアルファベットの「E」はeatの食べるを表しています。

藤井川ダムカレーは、城里町にある県立水戸桜ノ牧高等学校常北校の高校生が地域おこしのために発案し、クラウドファンディングを経て健康増進施設「ホロルの湯」で発売されているダムカレーです。

藤井川ダムカレーの発信地である茨城県城里町は、日本で一番魅力のない茨城県の中でも、一番知名度のない町だったそうです。この事実を逆手にとって町のPRに活用しようと立ち上がったのが、町内の県立高校である水戸桜ノ牧高校常北校の生徒たちでした。

その話を聞いた常磐大学の砂金(いさご)教授とそのゼミの学生、城里町役場まちづくり戦略課の江幡さん、地域おこし協力隊(3名の方)が組織を作り、高大官(高校・大学・町役場)が連携し、協力してダムカレーを作って城里町の魅力を発信しました。



↑常磐大学の砂金(いさご)教授  
ダムカレー開発までの大変さを熱く語って下さいました。

地域おこしのためにさまざまな案が出る中、藤井川ダムとダム湖をライスとカレーで表現する「ダムカレー」に、ダム湖に囲まれた場所に位置する健康増進施設「ホロルの湯」から「ぜひレストランで販売したい」という声がかかれ、「藤井川ダムカレー」のプロジェクトが本格的に始まりました。

藤井川ダムカレーを制作するための資金は、クラウドファンディング(インターネットを通じて資金を募る形式)で行われました。クラウドファンディングの目標金額は120万円でしたが、募集当初は支援金額が伸び悩んだため、プロジェクトのメンバーはPR活動に奔走しました。

東京まで足を運び、国土交通省や日本ダム協会を訪ねて協力を訴えたり、期間際には高校生が町内のスーパーで横断幕を掲げたりしてアピール活動を行ないました。怒涛の追い込みが功を奏し、新聞等のメディアにも取り上げられたことも追い風となり、締め切り時点では138万円の募金が集まり、無事ダムカレーを制作することができました。

吉峰 綾香(竹園東)

# 藤井川ダムの役割

## ダムを観光地へ

藤井川ダムは昭和31年に建設され、最初は防災用のダムとして利用されていましたが、後に多目的ダムとして城里町と水戸市の水道用水を供給する水がめ役を担っています。

主なダムの役割として、治水(土砂災害から人を守る)、利水(河川の水を農業・都市用水に利用する)、河川維持などがあります。

非常用洪水吐の上部の建屋は、丸太でできたコテージのような外観で、周囲にあるキャンプ場などと合うようにした外観になっています。

周辺には観光客を呼ぶために自然環境が保護され、綺麗な景色を見ることができます。また、「藤井川ふれあいの里」ではキャンプ場バンガローが整備され、向かいには、健康増進施設の「ホロルの湯」が建設され、レクリエーションが楽しめるレジャースポットとして賑わっています。

島野 まはろ(境一)中山 友貴(石下)



ダムカードの右上のアルファベットの「FNWA」は、F(洪水調整、農地防災) N(流水の正常な機能の維持) W(水道用水) A(かんがい用水) 右下の赤字の「G」はG(重力式コンクリートダム)を表しているそうです。

# 城里町のオススメお土産!

↓ホロル焼印どら焼き(5個入り500円)  
〜くり味のみ食レポをします〜  
生地は柔らかく、口に入ると、ほんのりとした甘さが広がります。ミニどら焼きにも関わらず、大きな栗がまるごと一つ入っている贅沢な一品です。アンコと栗の甘さがミックスされ、美味しさが更に引き立っています。



城里町は平成17年2月に旧常北町、桂村、七会村と合併しました。町の約6割が森林をしめる自然豊かな場所です。町名の由来は、東茨城郡の北であり、水戸城の北に位置していることから「城」、各町村に「ふれあいの里」、「うぐいすの里」、「やまびこの里」があることから「里」という字を使い、「城里」と命名されました。

山本 有紗(城内)



藤井川ダムカードをいただきました。ダムマニアの方にとっては、ぜひとも手に入れたい一枚だそうです。4月に入ってから約1200人の観光客がダムカード目当てに訪れたそうです。左下参照

↑藤井川ダムの職員の鈴木隆さん  
藤井川ダムについて詳しく教えていただきました。  
天候が良い時は、いつも通りの仕事ができるのですが、天候が荒れると、管理事務所は修繕場と化すそうです。



↑ココアクッキー(250円人気NO1)  
ほろ苦いビターな味で、甘いココアの風味が後味に残ります。少し大人の味がします。  
↑チョコチップクッキー(250円)  
シンプルなプレーンにチョコの甘さが絶妙な加減でマッチしていて、食べる手が止まらなくなります。  
↑プレーン(250円)  
シンプルだからこそ引き立つ甘さがあり、ミルクの風味が口に広がります。

忍田 悠輔(猿島)



生徒会新聞  
城里町特集号  
H31,2,8  
つくば秀英高等学校  
生徒会発行

生徒会発行  
"秀花新聞"  
全国高等学校総文祭  
新聞の部6年連続出場

新聞記事の  
ネタ募集中心!  
新聞ボランティア  
募集中!

INDEX

- 1面  
・藤井川ダムの役割  
ダムを観光地へ  
・城里町のオススメ  
お土産!
- 2面  
・魅力の低い町だからこそ  
茨城県城里町をPR

※記事内の( )は(出身  
中学校)になります。